

次数・直径の小さい P2P ネットワーク構成法とその評価

佐々木裕介、巳波弘佳

本研究では、頂点数が大きくても、次数と直径が小さい de Bruijn グラフを用いることによって、ルーティングに必要な次数を最悪 4 に抑えつつ、目的ノードまでのホップ数を最悪 $\log_2(n)$ (n はノード数) に抑えることができるオーバーレイネットワークの構成法について述べ、その構成法に基づいて構成したネットワークの性能をシミュレーションによって評価した。